

# 大志を育む



平成29年2月8日

(教職員向け)  
教育委員会だより

No. 13

発行：北広島市教育委員会

## 第2回小中一貫教育「教育計画ワーキング・グループ研修会」報告

北広島市教育委員会 学校教育相談員 岩田 博明

年明けの1月31日(火)、第2回北広島市小中一貫教育「教育計画ワーキング・グループ研修会」を、北広島市教育研究会との共催で、石狩教育研修センターにて開催しました。この研修会には、教頭、主幹教諭、教務主任に加え、各学校の状況に応じて生徒指導あるいは小中一貫教育担当者が参加し、合わせて第1回を上回る63名で協議を行いました。

最初に吉田教育長から、北広島市が進める小中一貫教育のねらいや取り組みへの期待についてお話をいただき、中学校区ごとに現在の取組状況の実践発表、鹿野次長から3ヵ年のロードマップの提示と求められる実践事項の具体例について説明がありました。その後中学校区別に今後の具体的な取組についてグループ討議を行い、話し合った内容を代表者が発表し全体で確認しました。以下、当日の研修会の様子をお伝えします。

### 1. 各中学校区での取組状況について(実践発表から抜粋)

- ・各中学校区では担当者会議など、推進組織を活用した話し合いや検討の場を複数回開催している。部会ごとに担当者が集まり具体案の検討を行っているところもある。
- ・各種検査を通して、子どもたちの学力の実態交流を行い、課題を明確にして改善プランに役立てている。
- ・乗り入れ授業、合同授業、小学校での一部教科担任制などをすでに実践している。
- ・児童会と生徒会の役員交流会を行っている。地域清掃や挨拶運動など児童生徒の有志による小中合同ボランティア活動を行っている。
- ・小学6年生の新入学説明会に合わせ、中学校一日体験入学を計画している。
- ・小中相互の授業参観では、小学校の研究発表会に中学校全教職員が参加した。また指導主事の学校訪問の際に、お互いに参加できる教員が授業参観だけでなく協議にも参加した。



### 2. グループ討議の発表(新たな取組や課題について)

- ・次年度の具体的な取組と日程、保護者への説明の在り方、スタンダードの実践的な取組について検討した。
- ・今後の課題をそれぞれの学校に持ち帰り検討する。
- ・推進組織の確立を今年度中に行う。
- ・先生方への説明だけでなく保護者や地域への情報の発信をしっかりと行う。
- ・すでに取り組んでいる実践例を検証して、さらに充実・発展させる方向で進めていく。
- ・3月までにやるべきことを教職員で確認し確実に取り組む。



### 3. 全体を通して

約2時間の研修会でしたが、あっという間に時間が過ぎたように感じました。参加した先生方の小中一貫教育に向けた意識の高さや熱意が伝わってきました。来年度は平成30年度からの市内一斉導入に向けていよいよ最後の年となります。今年度中に教職員体制を構築し、次年度確実に整備しておく事項を全教職員で共有し、新年度4月からの実践スタートに結び付けましょう。



伝統ある「合唱活動・集会活動」という教育活動は、保護者アンケートからも高く支持されており、緑陽中学校としての特色の一つでもあります。今年度は『学びを高め 仲間とともに 社会に貢献できる生徒の育成』の重点目標実現のために、その「伝統・誇り」をさらに「守り・発展」させる教育活動を行っています。

### 合唱活動の推進

～ 集中力と一体感を育て、感動体験を共有する ～

11月、本校は文化庁「文化芸術による子供の育成事業」で、『東京二期会合唱団』公演の機会を得ました。その際、混声四部にアレンジされた校歌とその楽譜をプレゼントされました。生徒から「歌いたい」との声が上がり、有志を募ったところ、全校生徒の半数以上が希望しました。現在は卒業式に向けて、「校歌の混声四部合唱」の練習に励んでいます。

合唱コンクールやこの取組みを通して、より質の高い集団づくりと、保護者・地域の方々にも感銘を与えることを目指しています。



〈校歌 混声四部合唱の自主練習〉



〈校歌 有志による全体練習〉



〈東京二期会公演 カルメン〉

### 集会活動の充実

～ 自治能力と社会性を育て、高める ～

生徒会主催による集会活動は、本校生徒の秩序と礼節を学ぶ機会として大きな成果を上げています。入退場では一切私語なく、司会進行の仕方や発表者の姿などから生徒相互が学ぶ機会は、極めて大切であると考えます。

今年度は、生徒会が運営する「いじめ撲滅」集会の前後も、「Hearts project」として、学級活動や道徳の中で、いじめや思いやりについて考えました。



〈決意を記入し、永久掲示〉

### 小中一貫教育に向けて

～保護者・地域の理解と協力を得ながら～

北広島市立緑ヶ丘小学校・緑陽中学校スタンダード

ともに向上 『Green Up』

すすんで考え 学び続けます

- ☆ 学習・読書習慣を定着させます
- ★ 基礎的な学力を身に付け、主体的に学ぶ子の育成

仲間・地域をやさしく支えます

- ☆ メディア・家庭のあり方について考えます
- ★ 思いやりの心を持ち、社会を支えられる子の育成

心も体も きたえます

- ☆ 健康・安全について、子どもとともに考えます
- ★ 自己有用感の高い、チャレンジ精神豊かな子の育成

《それぞれの目標》

上段：小・中学生

☆：両校PTA・地域

★：両校教職員

緑ヶ丘小学校とともに、左記の「スタンダード」を掲げ、その実現に努めています。これは、子どもたちのみならず、両校の保護者・地域や教職員の目標も含めています。両校の教育目標、および育てたい子供像を共有して立案しました。

校区の健連協や自治会の協力を得ながら、その浸透に今後とも説明を重ねていきます。